

令和4年度上越地域若年者自立支援ネットワーク会議（書面開催） 次第

1 協議内容

- (1) 上越地域若者サポートステーション事業概要
- (2) 上越地域若者サポートステーション令和3年度事業報告及び令和4年度実施状況について
- (3) 上越地域若者サポートステーション令和4年度の実施計画について
- (4) 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について
- (5) その他

2 配布資料

名簿

- 資料1 地域若者サポートステーション事業
- 資料1-1 サポステによる支援と利用者のイメージ
- 資料2 令和3年度地域若者サポートステーション事業の実績
- 資料3 令和3年度上越地域若者サポートステーション事業実施状況報告書
- 資料3-1 令和3年度上越地域若者サポートステーション状況
- 資料4 上越地域若者サポートステーション
- 資料5 上越地域若者サポートステーション事業〈国受託事業〉実施計画
- 資料5-1 令和4年度地域若者サポートステーション事業目標値
- 資料6 令和4年度上越地域若者サポートステーション事業実施状況報告書
- 資料6-1 令和4年度上越地域若者サポートステーション利用状況
- 資料7 令和4年度上越地域若者サポートステーション行事予定表
- 資料8 就職氷河期世代支援について
- 資料9 進路未決定卒業予定者等 支援フロー
- 資料10 上越地域若者サポートステーション事業実施チャート

【参考資料】

- 令和3年度地域若者サポートステーション利用者満足度調査報告書
- 令和3年度地域若者サポートステーション事業実績一覧

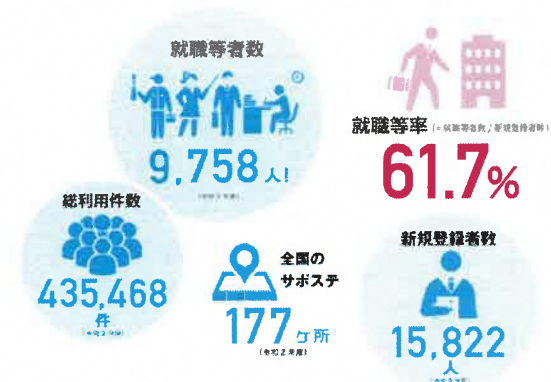
地域若者サポートステーション事業

令和4年度予定額 4,674,147 (5,167,110) 千円

- ▶ 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づき、**就労にあたって困難を抱える若者等（15～49歳の無業の方）を支援するため国（厚生労働省）が設置する施設。**
※都道府県労働局がNPO法人等の民間団体に委託。令和3年度**177カ所**（全都道府県に設置）。
- ▶ **地方公共団体は、サポステが入居する施設の無償貸与や減免措置、地方公共団体の広報誌等におけるサポステの広報など、地域の実情を踏まえた措置を実施。**

支援内容

- キャリアコンサルタントによる相談内容等を踏まえ、**個別の支援計画を作成。**
- コミュニケーション訓練、ビジネスマナー研修、就活セミナーなど、**利用者の個別ニーズを踏まえた様々なプログラム**を実施。
- **オンラインによる個別相談等も可能。**
- 高校・ハローワーク等の関係機関と連携し、就労を希望する中退者等の把握、サポステ職員が**学校や自宅等へ訪問するアウトリーチ支援**を実施。
- OJTとoff-JTを組み合わせた**職場体験プログラム**を実施。
体験終了後は、職場体験実施事業所等での就労に向けた支援を実施。
- **合宿形式を含めた集中訓練プログラム**を実施し、生活習慣の改善、コミュニケーション能力の向上、ビジネスマナーの習得などを集中的に支援。
- 就職後、**職場への定着・ステップアップに向けたフォローアップ相談**を実施。
- 必要に応じて、**地域の関係機関（福祉機関等）との連携（リファー）。**





若年無業者等のうち、就労の意思はあるものの様々な課題をかかえている者。

(若年無業者等: 15~39歳で、仕事に就いておらず、家事も通学もしていない者)

課題は人により違う

- 「働きたいけど、どうしたらよいのかわからない・・・」
- 「働きたいけど、自信が持てず一歩を踏み出せない・・・
自分になにかできるとは思えない など」
- 「働きたいけど、人間関係の躓きで退職後、プランクが長くなってしまって・・・」
- 生活リズムが不規則(昼夜逆転)
- コミュニケーションが苦手で・・・不安
 - ・大勢の中で活動できない
 - ・1対1なら話しができるが集団のなかでは話せない
- 守ろうとしても時間が守れない



相談支援

キャリアコンサルタント等による個別的な相談、支援計画の作成

- ・課題、問題点の洗い出し
- ・個別支援計画の作成、目標設定
- ・各種プログラム後のふりかえり

ハローワーク
などを経て
社会へ
踏み出す
(就職)

保護者からの相談
も受付

小さな成功体験の積
み重ねを繰り返す

個別、グループ等による就労に向け踏み出すためのプログラム等の実施

就職した者への
定着支援・
ステップアップ
相談

各種支援プログラム

コミュニケーション講座、職場見学、パソコン講座、就活セミナーなど

職場体験プログラム

産業界の求人ニーズの高い業種等でのOJT
とoff-JTを組み合わせた就労体験プログラム

集中訓練プログラム

合宿を含むサポート、自信回復、
職場に必要な基礎的能力付与、
就職活動に向けての基礎知識
獲得等を集中的に実施



コミュニケーション訓練



職場体験

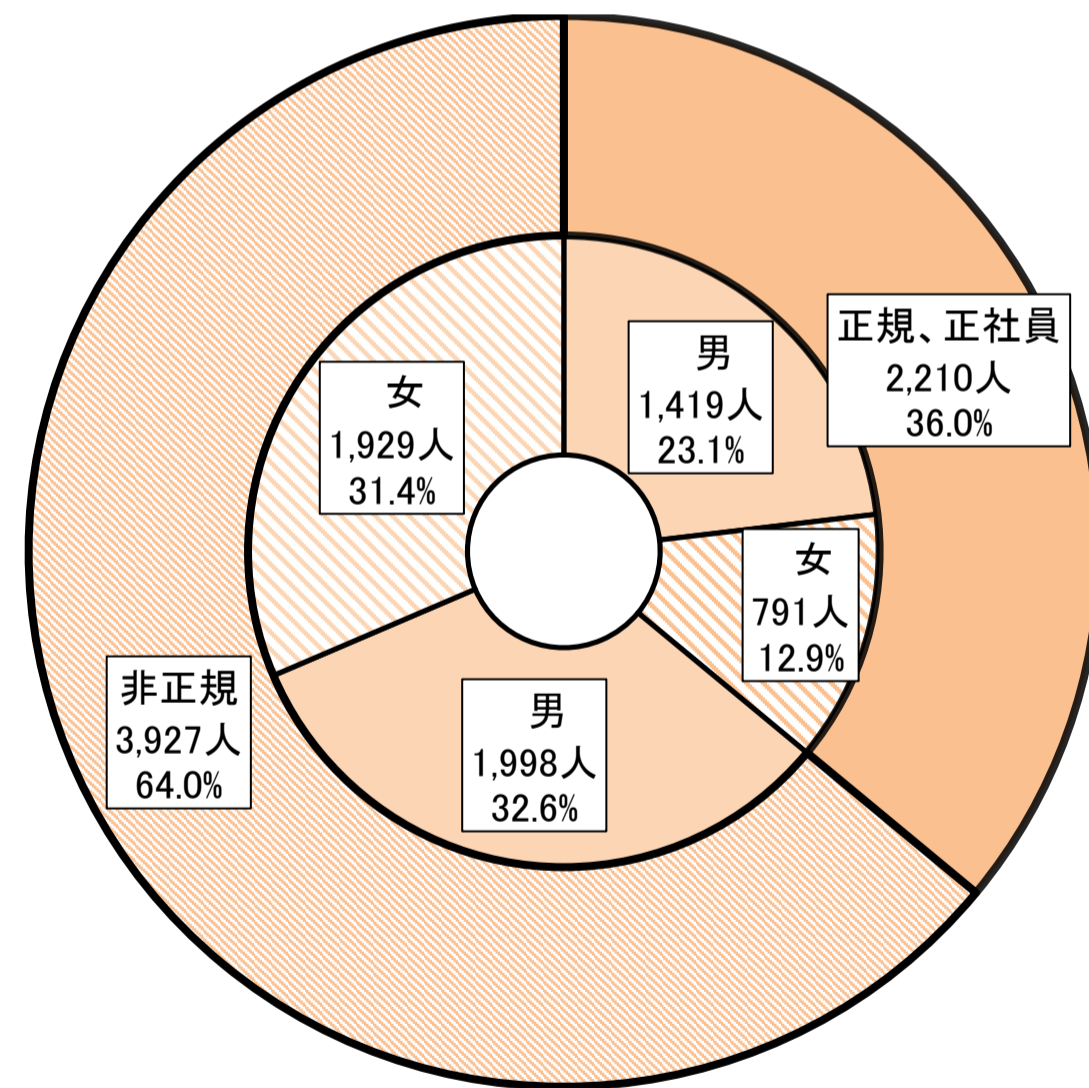
- 地域の若者支援機関等
と連携
- 学校、ハローワーク等
関係機関と連携した、中退
者等への切れ目ない支援
の実施



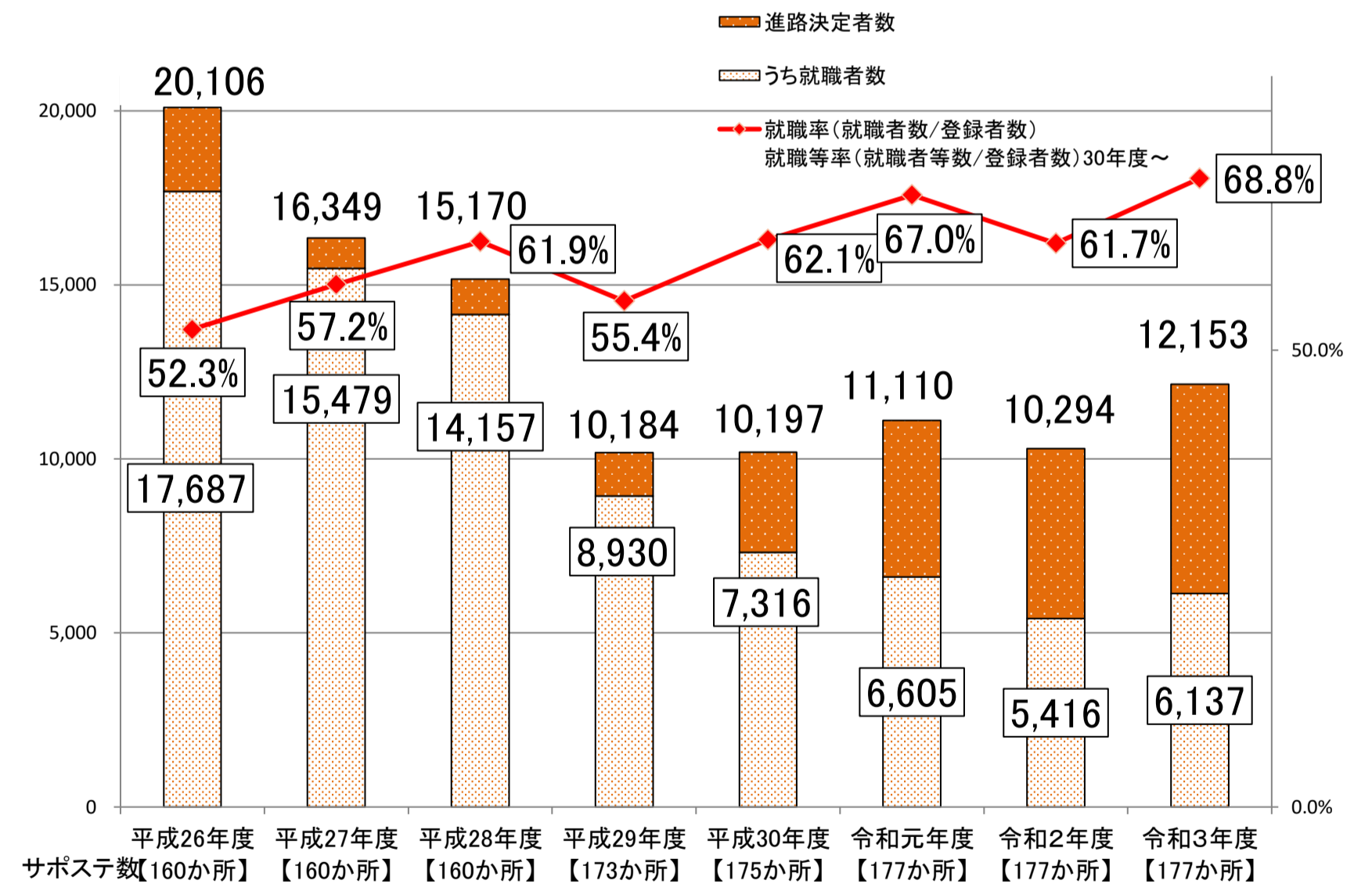
1. 利用者数等実績

| | 就職等者数 | | 新規登録者数(人) (※リファー及び利用中止除く) | 総利用件数(件) | 相談件数(件) | セミナー等参加者数(人) |
|-----|--------|-----------|------------------------------|----------|---------|--------------|
| | | うち就職者数(人) | | | | |
| 計 | 11,556 | 6,137 | 16,807 | 477,012 | 261,349 | 146,420 |
| 男 | | 3,417 | 9,321 | | | |
| 女 | | 2,720 | 7,461 | | | |
| 無回答 | | 0 | 25 | | | |

2. 就職者の内訳



3. 実績の推移



※ 平成27年度より、「就職者」について雇用保険被保険者になり得る就職者に限定
 ※ 平成29年度より、雇用保険被保険者就職であることを書類により確認できる場合に限定
 ※ 平成30年度より、「就職等」とし、雇用保険被保険者となることが見込まれる就職及び公的職業訓練スキームへの移行も含めて評価

令和3年度地域若者サポートステーション事業実績

()内は令和2年度実績

| | | |
|-----------------|--------|----------|
| ①新規登録者数(※1) | 16,807 | (15,822) |
| ②就職等者数 | 11,556 | (9,758) |
| 就職者数 | 6,137 | (5,416) |
| ステップアップ支援中の就職者数 | 1,330 | (1,068) |
| 週20時間未満の就労者数 | 3,278 | (2,604) |
| 公的職業訓練 | 811 | (670) |
| ③就職等率(②/①) | 68.8% | (61.6%) |
| ④定着率(※2) | 78.3% | (71.9%) |

(※1)新規登録者中、リファーマ等により本事業での支援の対象とならなかった方を除いた数値

(※2)定着・ステップアップ支援を受けた者のうち、就職後6ヶ月経過時点で就労している者の割合

(※3)「就職等」の整理の変遷について

平成27年度より、「就職者」について雇用保険被保険者になり得る就職者に限定

平成29年度より、雇用保険被保険者就職であることを書類により確認できる場合に限定

平成30年度より、「就職等」とし、雇用保険被保険者となることが見込まれる就職及び公的職業訓練スキームへの移行も含めて評価

令和3年度

上越 地域若者サポートステーション

事業実施状況報告書

2021年4月～2022年3月

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| 新規登録者 目標値 | 8 | 8 | 9 | 8 | 8 | 9 | 8 | 8 | 9 | 8 | 8 | 9 | 100 |
| 新規登録者数 | 11 | 10 | 17 | 13 | 4 | 26 | 8 | 22 | 17 | 5 | 7 | 7 | 147 |
| 達成率 | 137.5% | 125.0% | 188.9% | 162.5% | 50.0% | 288.9% | 100.0% | 275.0% | 188.9% | 62.5% | 87.5% | 77.8% | 147.0% |
| 相談件数(全合計) | 133 | 104 | 102 | 115 | 94 | 131 | 81 | 138 | 117 | 102 | 121 | 152 | 1390 |
| うち来所 | 36 | 31 | 52 | 33 | 34 | 44 | 18 | 45 | 51 | 28 | 32 | 44 | 448 |
| うち電話・メール | 83 | 49 | 37 | 60 | 41 | 43 | 42 | 68 | 50 | 61 | 83 | 93 | 710 |
| (*未登録者相談件数) | 14 | 24 | 13 | 22 | 19 | 44 | 21 | 25 | 16 | 13 | 6 | 15 | 232 |
| セミナー参加人数 計 | 55 | 35 | 49 | 43 | 29 | 54 | 55 | 51 | 46 | 41 | 55 | 31 | 544 |
| | 51 | 32 | 46 | 39 | 26 | 46 | 46 | 43 | 45 | 41 | 52 | 30 | 497 |
| (*未登録者セミナー参加人数) | 4 | 3 | 3 | 4 | 3 | 8 | 9 | 8 | 1 | | 3 | 1 | 47 |
| セミナー実施回数 | 27 | 20 | 29 | 24 | 20 | 40 | 29 | 29 | 21 | 20 | 35 | 25 | 319 |
| step up・定着相談件数 | 29 | 4 | 28 | 23 | 36 | 33 | 25 | 26 | 22 | 14 | 18 | 23 | 281 |
| Step upセミナー | 実施回数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | 9 |
| | 参加人数 | | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 進路決定者 目標値 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 60 |
| 進路決定者数 (A+B) | 10 | 11 | 9 | 10 | 11 | 9 | 5 | 14 | 8 | 2 | 5 | 13 | 107 |
| 達成率 | 200.0% | 220.0% | 180.0% | 200.0% | 220.0% | 180.0% | 100.0% | 280.0% | 160.0% | 40.0% | 100.0% | 260.0% | 178.3% |

| 出口就職 目標値 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|------|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|----|----|
| 出口就職 (A) | | 7 | 7 | 7 | 7 | 5 | 8 | 3 | 13 | 6 | 2 | 5 | 10 | 80 |
| (20H以上。 H27年度から) | 正社員 | 3 | | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 7 | 2 | 1 | 2 | 1 | 25 |
| | それ以外 | 4 | 7 | 5 | 6 | 3 | 5 | 1 | 6 | 4 | 1 | 2 | 9 | 53 |
| 再就職 | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 |
| 20H未満決定者 (B) | | 3 | 4 | 2 | 3 | 6 | 1 | 2 | 1 | 2 | | | 3 | 27 |
| 職業訓練 | | | | 1 | | 3 | | 2 | | | | | | 6 |
| 20H未満就労 | | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 1 | | 1 | 2 | | | 3 | 20 |
| 進学 | | | | | | | | | | | | | | |
| 起業,自営,内職,結婚等 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| リファー数 | | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | | 11 |

9-2

新潟県

上越地域若者サポートステーション

地域連携における役割の徹底と信頼構築、広報の強化

サポステ基本情報

| | |
|-------|--------------------|
| 運営団体名 | 公益財団法人 新潟県雇用環境整備財団 |
| スタッフ数 | 常勤 5人 非常勤 1人 |

取り組みのポイント

① 取り組みのねらい・ポイント

サポステの認知度向上、新規登録者増につながる取り組みを基本に立ち回り地域連携の強化と広く広報活動を行うことを中心に活動してきた。プログラム～出口に向けて各々の活動を見直すと共に、広報活動を徹底して行った。さらに機関等へのアウトリーチや職場体験先企業開拓、就労先など、出口にまで結びつける活動を行ってきた。これらの活動を行ったことにより、令和3年3月末 新規登録者前年度比125%、進路決定者前年度比144%の結果を残すことができた。

今年度はこれらの取り組みを充実させ、連携先の特性を活かしそれぞれの役割を明確にして情報連携を強化した。具体的には、利用者情報を共有することから団体はもとよりサポステ相談員個々の信頼関係も構築できるよう、対面での情報交換を増加した。

利用者には、サポートを受けている団体が、サポステのみ、サポステとハローワーク、サポステと他サポート団体など様々なパターンがあり、それぞれの団体に対して発信の仕方が違うことが多く見受けられるため、利用者に対してそれぞれのサポートを妨げ、利用者が望む出口にいち早くゴールするため連携先の役割を徹底し情報を共有して、早い次へのステップの礎とした。

広報では、昨年度の取り組みを引き続き行いさらには、SNS広告、HPの充実、連携先での就職支援講話など広報活動強化を行った。

② 取り組みの具体的な内容・方法・効果

各連携先との取り組み

①ハローワーク

週一回の定期訪問を行うほか、月1回の出張相談会など定期訪問し、ハローワークでのイベントをいち早く確認することでハローワークとつながっていない利用者に対しても早めの情報提供を行うことができた。

②行政機関（福祉・地域包括）

定期訪問は基より、定期連絡も行う。ご連絡いただく利用対象者は主に、就職氷河期世代や生活困窮者、引きこもりなどになるが、すべての利用者が対象にならない。求職のワードが出てくる利用者には、ご連絡をいただける様にした。メインサポートがサポステにはならなくても、利用者に対して取り囲むサポート団体の中でメインサポートはどこが行うのかなどの情報共有を行い対応することで利用者にも有益になった。

年齢層の高い利用者には、時間をかけた求職活動が難しい。そのような方にはやる気を優先した企業を紹介し、マッチングを行った。

③医療機関

利用者に対して、希望を基に将来良い選択ができる様にプランニングを行うこと、さらに希望や必要性から職業適性検査（GATB・キャリアインサイト）興味領域診断・自己理解、自己分析なども行う。

その中で、医療受診が必要と思われる方もいる。それらの判断はデリケートな問題である。アセスメントや公認心理師も含めケースミーティングを行い総合的判断、本人自身が納得される様に面談も重ねていく。受診のケースは、精神疾患や発達障害が主であるが、医療の流れや医療機関の紹介まで丁寧に説明を行う。その上で、紹介受診先に受診される方の場合はソーシャルワーカーと情報共有連携をとりながら受診状況や利用者の現在位置を確認し受診結果として、

発達障害や自立支援が必要なケースなど様々な状況はあるが、その結果と本人の希望をもとに再度プランニングを行い医療機関と連携を徹底し進める。

・連携医療機関では、自閉スペクトラム症の方の専門プログラムを行っている。
内容はコミュニケーションのトレーニングを主に行うが、付随して就職準備支援プログラムを先のプログラム修了後にしている。

そのうちの就職支援講話を当サポステ総括コーディネーターが担当し、こちらでも連携活動を行った。

④職場体験（見学）先開拓

昨年度は新規企業を17社確保することができ、さらに今年度も開拓を進めている。

広報の強化

連携先へのサポステ説明会の実施 地域包括での責任者集合会議、地区民生・児童委員集合研修、行政福祉機関定期訪問、連携ネットワーク団体会議等においてサポステ認知度向上に努めた。

サポステリーフレット、ポスター他による広報 連携機関、公共・商業施設他の配架棚への配置を行う。各市の広報誌内での広報、コミュニティ新聞・テレビによる宣伝広告。

WEB広告 ディスプレイ、リスティング広告、ユーチューブ、ツイッターを行った。

ホームページ更新 常に最新情報のアップを行った。

③ 実施上の留意点

連携先との情報交換での留意点

- ・広報活動、役割徹底を行う中でサポステの認知が広がっていき、各連携団体からサポステ利用につながらない情報やケースも併せて増加してきたが、登録につながらないケースであった場合もしっかりと対応し、サポステが切れ目とならない様にリファーマ等丁寧に対応することで、利用者や機関などから当サポステの評価・信頼につながるよう行動した。
- ・情報共有は利用者の同意を必ず取った上で行うこと。

医療機関につなげるときの留意点

医療機関の利用紹介の説明時に本人の同意をしっかりと確認の上で次につなげていく。同意を得られない場合は絶対に強制は行わない。

取り組みの成果と今後の課題

成果

本人やご家族からの利用登録の増加、連携先団体他からの問い合わせ、サポステ利用度向上につながる提案や依頼も増えた。さらに団体からのサポステへの訪問も増加し、様々な取り組みを行えるきっかけとなり、結果へ結びつけることになった。

実績

- ・令和3年度10月末現在の状況。
新規登録者 前年同月比148%
進路決定者 前年同月比163%（令和3年度末目標値を10月末時点でクリア）
- ・職場体験先への就労
開拓を進めるなか、体験先企業への就労事例ができ、企業先との信頼構築につながった。

課題

活動を行っていく中で一定の成果は出ているが、認知度は未だ低く感じている。さらに行えることの幅を広げ認知度向上に努めたいと思う。

そのことが利用者の増加、ひいては利用者の利益につながることを考えている。

また職場体験先、出口開拓において、利用者の環境や背景などにより、企業とのミスマッチが発生しており双方の状況にあった形でのマッチングに検討の必要がある。

| 項 目 | 内 容 |
|----------|---|
| 1 事業目的 | <p>若者及び40歳代無業者が充実して職業生活を送り、将来を支える人材となるよう一人でも多くの対象者を就職に結びつけるとともに、就労後のフォローアップを通じて早期離職を防ぐことを目的とする。</p> |
| 2 相談支援事業 | <p>(1) 基盤的支援メニュー 就労相談や生活相談、コミュニケーション訓練、軽作業、グループワーク、協力企業への職場見学、保護者からの個別相談への対応を通じて、就職活動の実施に向けた準備段階の支援を行う。 ① 就労相談・生活相談等の個別相談 ・ インテーク面談から支援プラン作成、提案 ・ 出張相談会 ② 動機付けに関するメニュー ・ 職業講話 ・ 就職者による体験談講話 ③ 自己を知ることに関するメニュー ・ 職業適性検査 ・ 自己理解の促進 ・ 自信回復 ・ コミュニケーション能力の向上 ・ 生活習慣の改善 ・ 身だしなみ ④ 職業の世界を知ることに関するメニュー ・ ショブトレーニング・職場見学 ・ 就労体験 ⑤ 関係機関企業と連携したメニュー ・ 講演会 ・ 各種サポートセミナー</p> <p>(2) 実践的支援メニュー 基盤的支援メニューの成果を踏まえ、相談支援員・キャリアコンサルタントによる、実践的な就職に向けた支援プログラムを実施するとともに、就職後の定着・ステップアップのためのフォローアップ支援を実施する。 キャリアコンサルティングプログラム ① 就職活動方法等に関する専門的な相談・個別指導 ・ 個々の状況に合わせたマッチングから書類、面接等へ ・ ハローワークへの同行訪問 ② 就職支援セミナー ・ 就活セミナー ・ ビジネスマナー ・ パソコンセミナー ・ 医療機関主催就職準備プログラム ・ 各就職講話 ・ 各種就職体験セミナー ③ 職場体験プログラム 実践的なスキルの習得、職場環境への適合を支援 ④ 定着・ステップアッププログラム 就職者に対して、キャリアコンサルティングを実施して、その職場での定着を支援、またキャリアアップを図る事ができる者に対しては本格的な知識、スキルを取得するための中長期的なキャリア形成を支援する。</p> <p>(3) 40歳代無業者支援 就職氷河期に学校を卒業・退学した無業者の滞留が顕著で、これらの者を含む49歳までの無業者数の推計は約120万人にも達しており、以下にて支援を行う。 ・ 福祉機関等との連携（アウトリーチ先機関） 地域包括支援センター 市社会福祉協議会 市福祉課 他 ・ 具体的対応 個別支援計画に基づき、自立支援プログラム等参加を促し就業支援を行う。</p> <p>(4) 高校中退者等アウトリーチプログラム 各高等学校・ハローワーク（卒卒・専門援助部門）の3者で連携し切れ目のない支援を行う。 ※進路未決定卒業予定者（卒業年度1月以降）、中途退学者、 定時制で学びながら働く生徒対象 ・ 相談支援、アウトリーチ型支援 ・ 職業意識形成、自己理解、生活習慣、コミュニケーション能力向上支援など ・ 他機関への誘導 他</p> |

| | | | | |
|------------------|---|-----------|---|------|
| 3 事業実施期間 | 令和3年4月1日から令和5年3月31日(24ヶ月) | | | |
| 4 実施体制 | 総員7名 常勤 6名 非常勤 1名 総括コーディネーター 1名 キャリアコンサルタント 1名 相談支援員 3名 相談員 1名 情報管理員 1名 | | | |
| 5 開所時間 | (月・火・金) 午前9時00分～午後5時00分 (水・木) 午前9時00分～午後6時00分 (第1土曜) 午前10時00分～午後3時00分 休日：第2・3・4土曜・日曜・祝日、年末年始 | | | |
| 6 目標値 | 就職等率 | 60% | 新規登録者件数 | 100件 |
| | 就職等率(うち40歳代無業者) | 35% | アウトリーチ支援件数 | 10件 |
| | 定着率 | 69% | 就職等件数 | 60件 |
| | 利用者満足度 | 90% | 就職等件数(うち就職以外) | 10件 |
| 7 概算事業費 及び人件費 | 相談支援 事業 | 基盤的支援メニュー | (体制費 10,538,131円) (活動事務費 548,951円) (一般管理費 147,145円) (消費税 1,123,422円) | |
| | | 実践的支援メニュー | (体制費 6,212,238円) (活動事務費 1,398,840円) (一般管理費 147,145円) (消費税 775,822円) | |
| | 合計 | | 20,891,694 円 | |

令和4年度地域若者サポートステーション事業目標値

| | |
|--------------|-----------|
| ①若年無業者等の就職等率 | 65.8%以上 |
| ②定着率(※1) | 73.8%以上 |
| ③満足度(※2) | 90%以上 |
| ④新規登録件数 | 21,700件以上 |

(※1)定着率

定着・ステップアップ支援を受けた者のうち、就職後6ヶ月経過時点で就労している者の割合

(※2)満足度

サポステの支援を受けた者に対して厚生労働省等が行う満足度調査において、満足と回答した者の割合

【令和4年度における①及び②の目標値の考え方】

→他の雇用対策事業と同様、近年の実績を踏まえた目標値となるよう、過去3年間の平均値以上とすることとした。

令和4年度 上越地域若者サポートステーション 年間行事予定表

資料7

令和4年4月5日現在

| 月 | 主なサポステ内行事・不定期開催プログラム | 出張相談会 | | | 出張・会議・入札関係 (※5月以降は令和3年度実績) | |
|----|-------------------------------|--------|----|----|--|------|
| | | ハローワーク | | | | 外部会場 |
| | | 上 | 糸 | 妙 | | |
| 4 | 5・挨拶回り 15,22・地域包括支援センター訪問 | 21 | 13 | 27 | 13・糸魚川地区公民館 | |
| | 9・女子会 13・GATB(糸魚川会場) 通年・企業訪問 | | | | 20・県内サポステ情報交換会(県庁) 25・自立支援ネットワーク実務担当者会議 | |
| 5 | 中～下旬・高校訪問 | 19 | 11 | 25 | 11・能生生涯学習センター 18・吉川コミュニティプラザ 25・新井ふれあい会館 | |
| | | | | | 総括コーディネーター研修(YouTube配信) | |
| | | | | | | |
| 6 | 上～中旬・13区総合事務所訪問 8・GATB(糸魚川会場) | 16 | 8 | 29 | 24・県内サポステ情報交換会(新潟) | |
| | | | | | | |
| 7 | 8・女子会 | 21 | 13 | 27 | 20・直江津学びの交流館 27・新井ふれあい会館 | |
| | | | | | | |
| 8 | 6・親サポ 17・GATB(糸魚川会場) | 18 | 17 | 24 | 19・自立支援ネットワーク会議 | |
| | | | | | | |
| 9 | 随時・地域包括支援センター訪問 | 22 | 14 | 28 | 14・能生生涯学習センター 21・柿崎地区公民館 28・新井ふれあい会館 | |
| | | | | | 8・県内サポステ情報交換会(長岡) | |
| | | | | | | |
| 10 | 7・女子会 12・GATB(糸魚川会場) | 20 | 12 | 26 | 14・自立支援ネットワーク実務担当者会議 18・上越トークカフェ 19・相談業務スキル向上研修(Zoom) | |
| | | | | | | |
| 11 | 上～中旬・13区総合事務所訪問 5・卒業者懇談会 | 17 | 9 | 30 | 9・糸魚川地区公民館 16・はーとびあ中郷 30・新井ふれあい会館 | |
| | | | | | 17・新潟サポオンライン報告会 20・ささえあい講演会 24・合同企業面接会 | |
| | | | | | | |
| 12 | 14・GATB(糸魚川会場) | 22 | 14 | 21 | 1・県内サポステ総括会議(長岡) 16・県内サポステ情報交換会(新発田) | |
| | | | | | | |
| 1 | 5,7・挨拶回り 中旬・高校訪問 | 19 | 11 | 25 | 11・能生生涯学習センター 18・直江津学びの交流館 25・新井ふれあい会館 | |
| | | | | | 【未定】サポステ事業入札説明会(3年度は開催せず) | |
| | | | | | | |
| 2 | 3・女子会 8・GATB(糸魚川会場) | 16 | 8 | 22 | 【未定】令和5,6年度提案書3市会議/提案書プレゼン/提案書第一次案締切/提案書第二次案締切 | |
| | | | | | | |
| 3 | | 23 | 15 | 29 | 15・糸魚川地区公民館 22・牧コミュニティプラザ 29・新井ふれあい会館 | |
| | | | | | 【未定】開札 20・ささえあい講演会 24・合同企業面接会 | |
| | | | | | | |

●月以外の欄内数字は日付を表す。

●出張・会議を始め、予定は随時更新。

●毎週及び隔週開催等定期プログラムは別紙(プログラム案内)参照…令和4年度より、第2月曜午後に「健康セミナー」定期開催(別紙に記載なし)

●講演会・研修については、新型コロナウイルス感染状況により開催検討

上越地域若者サポートステーション 7月予定表

7月の土曜開所日時…2日10:00～15:00

2022.6.23現在

| 7月 | | 午前 | 午後 | |
|----|---|---|---|----------------------------|
| 1 | 金 | GATB無料体験(10:00～11:30 相談室11) |  | |
| 2 | 土 | ステップアップセミナー(10:30～12:00 相談室11) | | |
| 3 | 日 | | | |
| 4 | 月 | 就活セミナー実践編②(10:00～12:00 相談室11) | | |
| 5 | 火 | | | |
| 6 | 水 | | | |
| 7 | 木 | コミプレ(10:00～11:30 第1会議室) | | ビジネスマナー(13:30～15:00 相談室11) |
| 8 | 金 | | | 女子会(13:20～16:00) |
| 9 | 土 | | | |
| 10 | 日 | | | |
| 11 | 月 | 就活セミナー実践編③(10:00～12:00 相談室11) | 健康セミナー(13:30～15:00 調理実習室) | |
| 12 | 火 | | 社会参加活動:社協デイサービス(13:30 サポステ集合) | |
| 13 | 水 | パソコンセミナー①(10:00～12:00 だいふくパソコン教室) | | |
| 14 | 木 | コミプレ(10:00～11:30 第1会議室) | コミトレ(13:30～15:00 相談室11) | |
| 15 | 金 | GATB無料体験(10:00～11:30 相談室11) | | |
| 16 | 土 | | | |
| 17 | 日 | | | |
| 18 | 祝 | 海の日 | | |
| 19 | 火 | | 社会参加活動:直江津図書館(13:30 サポステ集合) | |
| 20 | 水 | パソコンセミナー②(10:00～12:00 だいふくパソコン教室) | | |
| 21 | 木 | コミプレ(10:00～11:30 第1会議室) | ビジネスマナー(13:30～15:00 相談室11) | |
| 22 | 金 | | | |
| 23 | 土 | | | |
| 24 | 日 | | | |
| 25 | 月 |  | | |
| 26 | 火 | | 社会参加活動:大湯水と森公園(12:45 サポステ集合) 作業しやすい服装で。雨天時は雨具持参 | |
| 27 | 水 | パソコンセミナー③(10:00～12:00 だいふくパソコン教室) | | |
| 28 | 木 | コミプレ(10:00～11:30 第1会議室) | コミトレ(13:30～15:00 相談室11) | |
| 29 | 金 | GATB無料体験(10:00～11:30 相談室11) | | |
| 30 | 土 | | | |
| 31 | 日 | | | |

- ◆各プログラムは、特に記載がない場合「福祉交流プラザ」で実施します。実施場所詳細はプログラム案内、または口頭でお知らせします。
- ◆プログラムはすべて事前予約となります。参加希望のプログラムがありましたら、1週間前までに事務局へお申し出ください。
- ◆社会参加活動は、実施場所により集合時間が異なります。また、実施時間は概ね2時間です。
- ◆ステップアップセミナーは就労後のサポートセミナーです。
- ◆月間予定は福祉交流プラザや社会参加活動先の都合等により変更となる場合があります。ご了承ください。

☆プログラムは、マスク着用での参加をお願いいたします。
 ☆熱中症予防のため、各自で飲み物を持参してください。
 ☆悪天候の場合、安全のためプログラムを中止することがあります。その際は、お申し出いただいている連絡先(携帯電話)に連絡いたしますので、上越サポステの電話番号を登録しておいてください。
 ※閉所になりスタッフが電話連絡できない場合は、HPやTwitterで中止案内をします。

I

課題

- いわゆる就職氷河期世代は、おおむね1993年～2004年に学校卒業期を迎えた世代（2022年4月現在、**大卒でおおむね40～51歳、高卒でおおむね36～47歳**）であり、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代。
- これまで不安定な就労を繰り返しており、概して**能力開発機会が少なく、企業に評価される職務経歴も積めていない**。
（原因）学卒時に不安定就労・無業に移行したことや、就職できても本来の希望業種・企業以外での就職を余儀なくされたことによる早期離転職等
- また、加齢（特に35歳以降）に伴い企業側の人事・採用慣行等により、**安定した職業に転職する機会が制約されやすい**。
- 不安定な就労状態にあるため、**収入が低く、将来にわたる生活基盤等が脆弱**。

II

これまでの経緯

- 平成31年3月27日及び4月10日、経済財政諮問会議において、安倍総理から「就職氷河期世代への対応が重要であり、活躍の場を更に広げるための3年間の集中プログラム」を取りまとめるよう指示。
- 令和元年6月21日に決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」における「**就職氷河期世代支援プログラム**」において、政府全体の目標として、「**3年間の取組により、これらの者に対し、現状よりも良い処遇、そもそも働くことや社会参加を促す中で、同世代の正規雇用者については、30万人増やすことを目指す**」こととされた。
- 令和元年7月31日、内閣官房が「就職氷河期世代支援推進室」を設置し、11月26日には、「就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム（議長：全世代型社会保障改革担当大臣、**副議長：厚労大臣**、構成員：関係大臣、支援団体、労使、地方の代表団体、有識者など）」を開催。 ※令和2年6月29日に第2回、令和3年5月13日に第3回を開催。
- 令和元年12月23日、就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議において、「就職氷河期世代支援プログラム」に盛り込まれた各施策を具体化した「**就職氷河期世代支援に関する行動計画2019**」を取りまとめ。
※令和2年12月25日、令和3年12月24日開催の就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議において、改訂版となる「**就職氷河期世代支援に関する行動計画2020**」、「**就職氷河期世代支援に関する行動計画2021**」をそれぞれ取りまとめ。
- 令和4年5月12日の「就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム」、令和4年6月7日に決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、令和4年度までの3年間の集中取組期間を「**第一ステージ**」としつつ、令和5年度からの「**2年間の第二ステージ**」と位置付け、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援を実施し、**成果を積み上げる**」こととされた。

就職氷河期世代支援について②

Ⅲ 主な支援対象

- ◆ 不安定な就労状態にある方（不本意ながら非正規雇用で働く方）（約50万人程度）
- ◆ 長期にわたり無業の状態にある方（約40万人程度）
- ◆ 社会とのつながりをつくり、社会参加に向けたより丁寧な支援を必要とする方（ひきこもりの方など）（推計は困難）

Ⅳ 主な取組

- 地域ごとのプラットフォームの形成・活用
 - 都道府県レベルのプラットフォーム（経済団体、労働局等）により各界一体となった取組を推進
 - 市町村レベルのプラットフォーム（自立相談支援機関、地域若者サポートステーション、ハローワーク、経済団体、ひきこもり地域支援センター、ひきこもり家族会等）により、地域資源、ニーズの把握、適切な支援へつなぐ等の取組を推進
- 就職氷河期世代、一人ひとりにつながる積極的な広報
- 対象者の個別の状況に応じたきめ細やかな各種事業を以下のとおり展開

◆ 不安定な就労状態にある方

- 民間事業者のノウハウを生かした正社員就職につなげる成果連動型事業
- ハローワークに専門窓口を設置、担当者によるチーム支援を実施
- 短期資格等習得コースにより、短期間で取得でき、安定就労に有効な資格等の習得支援を「出口一体型」で実施
- トライアル雇用助成金（一般トライアルコース）の拡充等

◆ 長期にわたり無業の状態にある方

- 地域若者サポートステーション（サポステ）において、49歳までを支援対象として、相談体制を整備（※）
- サポステから生活困窮者自立支援窓口や福祉事務所等の福祉機関等へのアウトリーチ型支援（出張支援）の実施

※サポステの支援対象は、15～49歳の無業者であり、長期の無業者に限定されるものではない。

◆ 社会参加に向けた支援を必要とする方

- ひきこもり支援施策や相談窓口の案内に加え、社会とのつながりを回復できた好事例の周知
- 生活困窮者自立相談支援機関にアウトリーチ支援員を配置するほか、生活困窮者の受入理解のある企業の開拓等
- 中高年のひきこもり状態にある者への就労に限らない多様な社会参加の場の確保等
- 8050問題等の複合的な課題を抱える世帯への他機関協働による支援体制の拡充

学校、地域若者サポートステーション、ハローワーク 進路未決定卒業予定者等 支援フロー

令和3年4月1日
新潟労働局職業安定課

【サポステの支援対象者（目安）】

- 生活習慣、コミュニケーション能力など、就職活動や就職をする上で課題を抱えている。
 - 働こうとする意思はあるが、働くことのイメージができない、まだ明確な方向性を持っていない。
 - 働くことについて方向性が見えていて、情報収集もできるが、就職に向けた行動に移せていない。
- ※ 一律に当てはめるのではなく、個々の生徒等の様子を踏まえて判断する。

サポステ

（地域若者サポートステーション）

- ・相談支援、アウトリーチ型支援
- ・職業意識の形成、自己理解、生活習慣、コミュニケーション能力の向上支援など
- ・他機関への誘導

【学校、サポステ、ハローワークの3者で連携し、切れ目のない支援を行う】

- ・支援内容の情報提供
- ・連携のための窓口担当者の設置依頼
- ・就職に関する講話
- ・サポステでの支援後、学校での支援に誘導（在学生等）

・サポステでの支援後、ハローワークへの誘導

・支援が必要な生徒の情報をサポステへ伝達、誘導

・職業相談、職業紹介
・サポステの案内
・その他機関の案内

生徒等・保護者

進路未決定卒業（予定）者（※）

中途退学（決定）者

定時制等で学びながら働く生徒

※進路未決定卒業予定者は、原則、卒業年度の1月以降から支援対象。

・支援が必要な生徒の伝達、誘導

・進路指導、企業への推薦
・ハローワークの案内
・サポステの案内

・未内定者等の把握
・サポステの周知

・未内定者等の情報提供

ハローワーク

学卒部門

専門援助部門

学校

障害者手帳取得が有効と思慮する場合、部門間で連携。



上越地域若者サポートステーション事業実施チャート

地域若者サポートステーション事業 公益財団法人新潟県雇用環境整備財団(受託団体)

サポートステーション事業(福祉交流プラザ内)

○サポステ事業実施内容

15~49歳の無業者へのカウンセリング、電話等による相談、ボランティア体験、保護者向けセミナーなどを行い、就労や進学等社会性の回復を目指す。

○支援体制

- 所在地：上越市福祉交流プラザ内（上越市寺町2-20-1）
- 総括コーディネーター1名
事業の企画立案、関係機関との調整、総合窓口、カウンセリング
- キャリアコンサルタント1名
カウンセリング、出張相談
- 情報管理員1名
- 相談支援員3名
- 相談員1名

- ・キャリアコンサルタント
- ・産業カウンセラー
- ・教員免許状等資格保有者

- 相談
- ジョブトレーニング・就活セミナー
職場見学・体験、社会参加活動、ビジネスマナー、パソコンセミナー
- 一般職業適性検査
- グループ活動
コミュニケーショントレーニング、健康セミナー、女子会
- 親サポートセミナー
- 職場定着・ステップアップ支援
ステップアップセミナー、卒業者懇談会
- 講演会・研修会

助言・提言

報告

関係機関・団体との連携

上越地域若年者自立支援ネットワーク会議

○商工団体

- ・上越商工会議所
- ・上越商工会連絡協議会

○就労支援行政機関

- ・ハローワーク上越
- ・ハローワーク糸魚川
- ・ハローワーク妙高

○各種支援団体等

- ・障害者就業生活支援センターさくら
- ・NPO法人えちご若者元気塾

○教育機関

- ・上越教育大学
- ・新潟県高等学校長協会
- ・新潟県立上越テクノスクール

○保健福祉行政機関

- ・新潟県上越地域振興局健康福祉環境部
(上越保健所・上越児童相談所)
- ・上越市福祉部すこやかにくらし包括支援センター

○自治体行政機関

- ・新潟県産業労働部しごと定住促進課
- ・新潟県上越地域振興局企画振興部労政担当
- ・上越市産業観光交流部産業政策課
- ・糸魚川市産業部商工観光課
- ・妙高市観光商工課
- ・上越市青少年健全育成センター

○医療機関

- ・高田西城病院



○各種機関・支援団体

- ・域内企業での就労・ボランティア体験
- ・各民間支援機関との連携、リファーマ（職業訓練へのリファーマ等）
- ・保健福祉行政機関との相互リファーマ
- ・大学との連携（専門的知見の活用）
- ・高等学校との連携、リファーマ（アウトリーチ支援事業）
- ・ハローワークからのリファーマ及び求職活動
- ・テクノスクールでの職業訓練・職場体験
- ・その他就労支援機関との連携
- ・上越地域若年者自立支援ネットワーク会議の開催による連携強化

○上越市

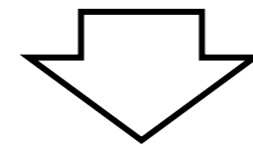
- ・事務所施設の無償貸与
- ・事務所施設の光熱水費の負担
- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知
- ・職場体験、ボランティア活動の場の提供等
- ・相談員

○糸魚川市

- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知

○妙高市

- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知



社会人としての自立（就職・復職・進学）